

自己評価結果

学校法人愛海学園
 幼保連携認定こども園
 アリス幼稚園

1. 保育理念

- ・就学前の子どもの発達段階に応じた教育・保育を一体的に行い、生涯にわたる人間形成の基礎を培う。

2. 保育方針

- ・すべての子どもにひとしく、笑顔と子どもの幸せを保障する。
- ・子どもの視点に立って、一人ひとりの健やかな育ちを守る。
- ・子育ての大切さをみんなで認め合い、子どもと子育て家庭を支援する。

3. 保育目標

心身ともに健康で感性豊かな子どもを育てる

- ①「体」心も体もたくましい子ども・・・心身ともに健康で感性豊かな子
- ②「知」賢い子・・・自分で考え工夫する創造性豊かな子
- ③「情」やさしく思いやりのある子・・・豊かな心で感じる子ども
- ④「意」意思の強い子・・・生き生きと主体的に活動する子

4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- ・感染症対策を十分に行いながら行事を挙げるよう努め、保護者と子どもの育ちを共有する機会を作る
- ・幼児や保育について研究をし、研修会にも積極的に参加して、職員間で子ども理解に努め、多様性を尊重した保育を行う
- ・園庭遊具の設置を行い、戸外遊びの充実を図る

5. 評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目		結果
教育課程・指導	(1) 建学の精神や教育目標に基づいた幼稚園の運営状況	A
	(2) 幼稚園の教育課程の編成・実施の考え方に関して教職員間の共通理解をはかる。	A
	(3) 幼稚園行事の管理・実施体制の状況	A
	(4) 年間の指導計画や週案などの作成状況 ・長期的計画（年・期・月） ・短期的計画（週案） ・3歳児未満（0～3歳）個別指導計画の作成 ・教育・保育内容などの評価・反省	A

	(5) 幼小連携の円滑な接続に関する工夫の状況 ・認定こども園園児指導要録を作成し、就学の際は小学校へ送付 ・小学校教育への円滑な接続に向けて、小学校の児童との交流や小学校教師との意見交換の機会を設け連携を行う。	A
	(6) 遊具・用具の活用 ・発達段階に即した遊具や用具の設定	A
	(7) 保育教諭間の協力的な指導の状況	B
	(8) 乳幼児に適した環境に整備されているかなど、学級運営に即した指導の状況	A
	(9) 認定こども園の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導の状況 ・環境を通して行う幼稚園教育・保育の実施の状況 ・乳幼児との信頼関係の構築の状況 ・乳幼児の主体的な活動の尊重 ・遊びを通しての総合的な指導の状況 ・一人一人の発達の特性に応じた指導の状況	A
保健管理	(10) 法定の学校保健計画の作成・実施の状況、学校管理衛生の管理状況	A
	(11) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組状況 ・SIDS（乳幼児突然死症候群）防止のための観察・記録・必要な措置 ・健康観察、定期的な検温・手指消毒・手洗い ・与薬する場合の対応（与薬依頼書の記入・薬の管理・誤飲防止対策）	A
	(12) 健康診断及び歯科検診の実施の状況	A
	(13) 法定の学校保健計画の作成・実施の状況、学校衛生の管理状況	A
安全管理	(14) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A
	(15) 法定の学校安全計画や、防災計画の作成・実施の状況	A
	(16) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A
	(17) 安全点検や、教職員の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A
組織運営	(18) 管理職の教育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、また、他の教職員からの信頼の状況	A
	(19) 幼稚園の明確な運営・責任体制の整備の状況	A
	(20) 勤務時間管理等、サービス監督の状況	A
	(21) 各種文書や個人情報等の幼稚園が保有する情報の管理の状況、また、保育教諭への情報の取扱い方針の周知の状況	A
	(22) 労働基準法等の各種法令の厳守状況	A
研修	(23) 保育研究の継続的实施など、指導改善の取組の状況	A

(資質向上の 取組)	(24) 園内における研修の実施体制の整備状況	A
	(25) 園内研修の課題の設定の状況	A
	(26) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A
	(27) 指導が不適切である保育教諭の把握と対応の状況	B
	(28) 上級免許や他の資格等の取得状況	A
保育目標 学校評価	(29) 保育目標の設定と自己評価の実施状況 ・乳幼児や保育園の実態、保護者の意見・要望等を踏まえた幼稚園としての目標の設定の状況 ・目標等を踏まえた自己評価の項目の設定の状況 ・自己評価が年に1回以上定期的に実施されているかなどの実施状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・全職員が評価に関与しているかなど体制の状況 ・設置者への報告（自己評価の結果）の状況	A
	(30) 学校に対する保護者の意見・要望等の状況 ・保護者の意見や要望の把握・対応状況	B
情報提供	(31) 幼稚園公開の実施の状況	A
	(32) 乳幼児の個人情報の保護の状況	A
	(33) 自己評価結果の公表状況	A
	(34) 園だよりやクラスだよりの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供情報	A
	(35) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	A
子育て支援	(36) 地域や保護者の実情や要望による幼稚園の子育て支援活動の実施状況	A
預かり保育	(37) 保護者の実情や要望による預かり保育の実施状況	A
	(38) 園や教職員による受け入れ体制の状況	A
教育環境整備	(39) 施設・設備 ・施設・設備の活用状況 ・施設・設備の安全・維持管理のための点検の取組の状況 ・施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況	A
	(40) 遊具・用具・図書等 ・遊具・用具・図書等の整備の状況 ・保育環境の充実のための取組状況	A

6. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

A	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期、二学期は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、感染症対策や実施内容を工夫した上で、親子遠足や保育参観、運動会等の行事を挙げてきた。三学期は、幼稚園での集大成となる音楽発表会を感染症対策に考慮しながら、人数制限なしに挙げていくことができた。 行事を通して、その時々の子どもの育ちや保育の様子を保護者と共有したり、必要に応じて個別での相談に応じたり、保護者との信頼関係を大切にしながら、保育を進めることができた。 ・個々の育ちに配慮しながら、子ども達の多様性を理解して保育を進められるよう子どもの特性や性格の理解に努めた。また、園外研修を通して、専門的知識のスキルの向上を図り、職員間での連携体制を強化した。安心して子どもが過ごせる環境を提供できるよう努めた。 ・職員ミーティング以外での業務連絡が十分に伝達されなかった部分が見られた。効率よく伝達できるよう改善していく。 ・大型遊具の設置を行い、戸外遊びを十分に楽しむ姿が見られた。新しい遊具に対する使用時のルールを守り、安全面に配慮しながら遊びを展開した。
---	--

7. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・親子遠足や保育参観、運動会、生活発表会などの行事を通して、日頃の園での子どもの姿や育ちを保護者と共有し、子育てに関する相談をはじめ、育ちが気になると感じている保護者に対しては、保護者の思いに寄り添い、その子の特性を理解することに努める。また、必要に応じて保護者の理解や協力の下、役場や専門機関など相談できる機関につなげ、それぞれと連携を図りながら、子どもの育ちを支えていく。
職員の資質向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の保育の課題を精査し、必要な園内研修の充実を図る。 ・園外、園内研修を積極的に取り入れ、職員の保育の知識・技術を向上させる。 ・園内研修を行う上で、互いの保育観を敬い、自己のみの保育観だけでなく上司や同僚の考えや思いを尊重しながら柔軟に受け入れて視野を広げる。新しい指導法や教材研究にも積極的に取り組み、充実した保育となるよう努力する。
保育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外での遊びの展開について研究する。 ・手作り玩具の活用（0～2歳児） ・子ども達が自発的に活動できるよう、子どもが主体的にかかわる環境を整える。
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・業務連絡用のツールを活用し、業務を円滑に進める。 ・合同保育時の職員の連携体制を整理し見える化をすることで、それぞれの役割を理解して業務を行えるようにする。また、保育の引継ぎを円滑に行えるようにする。

◎ 「5.6.」 の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である